

平成16年4月23日

各 位

会社名 株式会社 伊勢丹
代表者名 代表取締役社長執行役員
武藤 信一
(コード番号 8238 東証第一部)
問合せ先 総務部 広報・I R担当長
飯田 浩
(TEL 03-3352-1111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年11月13日の中間決算発表時に公表しました平成16年3月期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年3月期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の連結業績予想数値の修正 (金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	615,000	17,500	2,900
今回修正予想 (B)	615,000	16,100	3,100
増減額 (B - A)	0	1,400	6,000
増減率 (%)	0.0	8.0	-
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	601,897	17,109	7,701

2. 平成16年3月期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の業績予想数値の修正 (金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	435,000	10,000	1,200
今回修正予想 (B)	438,400	11,200	10,300
増減額 (B - A)	3,400	1,200	9,100
増減率 (%)	0.8	12.0	-
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	434,524	12,286	3,962

3. 修正の理由

(連結業績)

売上高は、予想どおりに推移しましたが、経常利益、当期純利益は予想を下回る見込みです。特に当期純利益は、当初予想しておりませんでした減損損失を計上するため、大幅に予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想の修正を行います。

(1)減損損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」を平成16年3月期より早期適用することとし、減損損失63億円を特別損失として計上致します。

会社別の減損損失の内訳は(株)伊勢丹59億円、(株)伊勢丹プチモンド2.5億円、(株)マミーナ0.9億円となります。

(個別業績)

売上高、経常利益は昨年9月に大規模なりモデルをしました本店「メンズ館」が好調なことや金融収支が改善したことなどにより、予想を上回る見込みです。

しかし、当初予想しておりませんでした以下の特別損失が発生するため、当期純利益は大幅に予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想の修正を行います。

(1)減損損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」を平成16年3月期より早期適用することとし、減損損失59億円を特別損失として計上致します。

店舗別の減損損失の内訳は吉祥寺店13億円、松戸店2億円、相模原店38億円、府中店5億円となります。

(2)関係会社株式評価損の計上

「金融商品に係る会計基準」に基づき、有価証券の減損処理を致します。

評価損計上額は(株)バーニーズジャパン株式23億円、イセタン(タイランド)Co.,Ltd.株式9億円、アイティーエム クローバーCo.,Ltd.株式(タイバンコク市)10億円の計44億円となります。

(3)関係会社貸倒引当金の計上

「金融商品に係る会計基準」に基づき、(株)伊勢丹プチモンドに対する貸付金について22億円の貸倒引当金を計上します。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。